



関宮学園

学校だより 32 号
R 7. 12. 11

校訓「敬・愛・信」

生徒会役員選挙

12月9日(火)に立会演説会を行いました。今年の夏には、参議院議員選挙がありました。18歳になれば選挙権をもちます。この生徒会役員選挙を通して、世の中のしくみも学んでほしいです。立会演説会の冒頭で、子どもたちに話した内容を紹介합니다。

日頃から、身のまわりのことに「なぜ」という疑問をもつことは大切です。

今日は、生徒会活動について「なぜ」を考えてみましょう。なぜ、学校では生徒会活動が行われているのでしょうか。皆さんにも、さまざまな答えが思い浮かんだと思いますが、私にまず浮かんだのは、「生徒自身によって学校生活をよりよくするため」という答えです。

では、よりよい学校生活にするにはどうすればいいでしょう。私はこう思います。自分自身の言動をほんの少し善い方に変えていく。例えば、元気よくあいさつをしてみましょう。笑顔で友達と話してみましょう。そうすれば、まわりが明るくなります。それが学級全体の雰囲気をつまかいものにします。やがて、学級が自分にとって居心地のいい空間になります。善行がまわりに伝わり、よい影響を与えて、まわりまわって自分に返ってくるのです。

これは、善行の反対、悪行にも当てはまります。私もそうですが、おもしろくなかったりうまいかなかったりすると、誰かに不満をぶつけたり、誰かの失敗を責めてしまいます。そうすると、負のサイクルに陥って、ますます、身のまわりでいいことが起きなくなります。

話は少しそれましたが、よりよい学校生活にするには、生徒会員の皆さん一人ひとりが自分の言動を一步善い方に進めてみる、それを一人ではなく全校生が共通して実践することが大切です。全校で善行を積んでいくのです。全校生が共通実践していくためには、生徒会の力は欠かせません。今日は、そのリーダーとなる人を選びます。みんなが過ごしやすい、よりよい学校を創り上げていく機運を醸成しましょう。

関宮こども園みんなの発表会

12月4日(木)に、ばら組(5歳児)の発表を参観してきました。手話や合奏など、さまざまな活動にチャレンジしている姿が輝いていました。練習の成果が発揮できた園児の表情を見て、喜ばしい気持ちになりました。こども園には定期的に訪問させていただいていますが、園児の成長に驚くばかりです。来年度の入学が待ち遠しくなりました。

授業を大切にすること

夢や目標をもつことが大切だと言います。当たり前ですが、夢を実現したり、目標を達成したりするためには、努力が必要です。学校生活のなかで考えられる努力として真っ先に思い浮かぶのは、授業を大切にすることです。

後期課程の生徒を例にすると、8時15分から15時45分まで7時間30分学校で生活しています。そのうち、授業時間は50分×6校時=300分(5時間)で、実に3分の2を占めています。毎日5時間、受け身ではなく、主体的に授業を受けると、どれだけの力が身につくでしょうか。

見方を変えてみます。いつの年代でも、家庭での学習時間が少ないことが悩みとして挙げられます。さまざまな誘惑に負けずに、放課後に学習時間を確保することは至難の業です。例えば、18時30分に帰宅したとすると23時30分まで学習しないと5時間は確保できません。しかし、学校の授業を主体的に受けていれば、それだけで1日5時間学習できます。それに家庭学習を加えれば、効果は絶大です。

実際には、学習は時間確保だけが問題ではありません。学習に向かう態度など内容が求められます。しかし、まずは学習習慣の確立からです。

以上のようなことを後期課程の全校集会で話しました。時間の関係で、一部しか話せませんでしたので加筆しています。子どもたち、特に、これから受験(受検)を迎える9年生には改めて考えてほしいと思います。

読み聞かせボランティアお礼の会

12月10日(水)に読み聞かせボランティアの皆様に来校していただき、お礼の会を行いました。皆様には毎月第2・4水曜日に読み聞かせをしていただいています。おかげで、前期課程の子どもたちが読書に親しむことができています。

この日は、5年生が前期課程を代表して、調理実習や会食などの活動をともにしながら、日頃の感謝の気持ちを伝えました。

登下校時のスクールバスの運行

12月11日(木)にバス通学をしている家庭を対象に、養父市の依頼文書と「予約デマンド交通」パンフレットの2種類の書類を配付しています。

本校では、定時の路線バスが運行していない時間に登下校させる場合、臨時のスクールバスの運行をお願いしています。その際、バス車両が使用されていますが、場合によっては乗車人数が5名以下になることがあります。このたび、乗車人数が5名以下の場合、バス車両ではなく、デマンド交通の車両が使用されます。詳細は養父市の文書をご覧ください。子どもたちにも説明しますが、ご不明なことがございましたら、関宮学園(Tel667-2759)までお問い合わせください。